

無機マテリアル学会会誌「Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan」 投稿の手引き

(2020年10月5日一部改定)

1 投稿原稿の全体的な注意点

- 1.1 原稿は、投稿規定、および投稿の手引きにしたがって執筆してください。
- 1.2 原稿は、パソコン等を用いて作成してください。ただし投稿の際は、①表紙、②本文、③文献、④表、⑤図(写真を含む)の順に一つにまとめたPDF(Portable Document Format)ファイルとして、投稿規定に示されるE-mailアドレスに送信してください。
- 1.3 最初の投稿の際には、PDFファイルのファイル名は、送信日と連絡担当者氏名にしてください。
[例] 20150101 無機一郎 (2015年1月1日送信の場合)
- 1.4 E-mailの件名(Subject)は、「学会誌投稿原稿」としてください。また、E-mailの本文には次の項目を記載ください。
①原稿の種類、②和文と英文の表題、③連絡担当者氏名および連絡先(住所・電話・E-mailアドレス)、④本文の文字数(スペースを含む)、⑤図(写真も含む)と表の点数
- 1.5 投稿されますと事務局にて原稿受付番号を付けます。以降はお問い合わせの場合もこの受付番号をご連絡ください。
- 1.6 査読後の原稿は、すみやかに改訂して再提出してください。査読後の改訂原稿を送付の際には、ファイル名は原稿受付番号(査読1回目の改訂原稿には受付番号の後ろに-1を付けてください)と連絡担当者名を記載してください。なお、返却した日より3か月以内に再提出されない場合は、投稿の意思がないものとして処理致します。
[例] 受付番号 A0001 の場合は、A0001-1 無機一郎
- 1.7 査読が終了し、最終原稿をお送りいただく際には、本文・図面のデジタルデータ(作成したソフトでのデータ)をCD、DVDおよび電子媒体にコピーして、プリントアウトした原稿1部とともに事務局に郵送してください(プリントは印刷段階での特殊文字など各種確認のため必要です)。
なお、最終原稿がPDFファイルのままの場合は受理しませんのでご注意ください。
- 1.8 筆者校正は、1度限り郵送で行います。この際、印刷上のミス以外の修正や挿入は原則として認めません。また、校正刷り原稿は締切日必着で返送してください。
- 1.9 筆者校正の返送期限に間に合わなかった場合は、編集委員会の校正をもって校了と致します。

2 原稿作成時の注意点

- 2.1 原稿はA4判用紙に、1,152文字(36文字×32行×2枚で刷り上がり1ページ)に設定し作成してください。英文原稿の場合は、A4判用紙に12ポイント程度のフォントを使い、行間をダブルスペースとして作成してください。
また図や表は、4点で刷り上がり1ページとみなしてください。
- 2.2 刷り上がりのページ数は、論文は6ページ、ノートは4ページ、総説は8ページ、解説・資料・講座は6ページを目安としてください。
- 2.3 原稿は、1段組で作成してください(会誌と同じように2段組にしない)。また本文中には、図や表を入れず、別紙にしてください(投稿の手引き5.1参照)。
- 2.4 執筆にあたっては、冗長な文章を避け、簡潔な表現を心がけてください。
- 2.5 文章は簡潔な口語体とし、常用漢字と現代かなづかいを用いてください。原則として、文部科学省学術用語集にもとづく用語を用いてください。
- 2.6 数字は、すべてアラビア数字としてください。ただし慣用語句については、この限りではありません。
- 2.7 数字、および一般記号を文章中に記入する場合、変数はイタリック体とし、上ツキ、下ツキ、などを明確に表記してください。また、年数は西暦で示してください。

3 原稿本文の執筆要領

- 3.1 原稿の表紙に、つぎの①~⑪の必要項目を後述の表にしたがって記載してください。①投稿原稿の種類、

②和文表題, ③英文表題, ④筆者名(会員番号), ⑤英語表記筆者名(会員番号), ⑥所属機関公式名および住所, ⑦所属機関公式英語表記および英語表記住所, ⑧英文アブストラクト, ⑨キーワード, ⑩和文概要, ⑪原稿連絡者(投稿責任者)の氏名・連絡先(郵便番号, 住所, 所属機関, 部課名, Tel, Fax, E-mail アドレスなど). なお, 住所の英語表記はつぎの例にしたがってください.

例) 〒227-xxxx 埼玉県さいたま市浦和区大原 10 丁目 50-61

10-50-61 Ohara, Urawa-ku, Saitama-shi, Saitama 227-xxxx

原稿の種類		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
和文原稿	論文・ノート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総説・解説・講座	○	○	○	○	○	○	—	—	—	—	○
	上記以外	○	○	—	○	—	○	—	—	—	—	○
英文原稿	論文・ノート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総説・解説	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○

○: 必要, —: 不要

- 3.2 外国人名は, 英語で表記してください.
- 3.3 表題は, 具体的内容が明確に把握できるものであることを旨とし, 「…について」や「…に関する研究」などの表記は避けてください. また, 原則として化学式の使用も避けてください.
- 3.4 キーワードとして, 原稿内容を的確にあらわす英語語句を五つ程度記載してください.
- 3.5 本文見出しは, 大見出しの順に, 1, 1・1, 1・1・1, a)などとしてください.
- 3.6 句読点は, 「,」(カンマ)および「.」(ピリオド)を使用してください.
- 3.7 商業活動につながる商品名(製品名)や商標は, 原則として記載しないでください. ただし, 商品名もしくは商標を記載しないと記述内容が読者に適切に伝わりにくい場合に限り, 必要最小限の使用を認めます. 商品名もしくは商標を使用する場合は, 文章中の最初の記述部分にのみ記載し, それ以降は「製品 A」, 「製品 B」…のように略称を用いて記載してください.
- 例) …ウルトラ○○(製品 A) およびスーパー●●(製品 B) の特徴を表 1 に…
- 3.8 総説・解説・資料については, 筆者紹介をつけてください.

4 単位の表記

- 4.1 単位は原則として SI 単位を使用してください.
m, cm, mm, μm , g, cm^2 , cm^3 , %, h(時間), min(分), s(秒), t(トン), $40\text{--}42^\circ\text{C}$, N(ニュートン), Pa(パスカル), J(ジュール), K(ケルビン)など.
ただし, 和文原稿の本文において時間は「時間」, 分は「分」と表記し, 「h」や「min」は使用しないでください.
- 4.2 組立単位の表記はすべて積の形にして, 単位ごとに「・」(中黒)を入れてください.
 $\text{kg}\cdot\text{h}^{-1}$, $\text{m}\cdot\text{s}^{-1}$, $\text{W}\cdot\text{m}^{-1}\cdot\text{K}^{-1}$

5 図(写真を含む)・表の作成要領

- 5.1 図や表は, A4 判用紙に, 1 点を 1 枚に作成してください.
- 5.2 図(写真も, 図として扱います)や表の表題および記号の説明は, 論文・ノートおよび英文の総説・解説については英語で, 和文の総説・解説については日本語でお書きください.
- 5.3 図(軸の数字, 軸の説明, 図中文字を含む)および表は, そのまま印刷できるように付図を参照しながら, つぎの 5.4 の説明にしたがって作成してください. 特に物理量が含まれた表や, 図の縦・横軸の量を指示する場合には, 付図のように物理量を適切な単位で除した量(商)とし, 図表に現れる量を無次元化して単なる数値としてください.
- 5.4 図は, 横幅を 140 mm, または 280 mm 以内の大ききで作成してください. 軸説明を含む図中の文字は, 16, 14 または 12 ポイントの明朝系書体を使用し, 線の太さは 0.5 mm 前後にしてください. 目盛は, 原則として, 枠の内側に付けてください. 基本的に刷り上がりは, 原図の 1/2 程度の大ききになりま

- す。なお、図の周囲に 30 mm 以上の余白をとってください(付図参照)。
- 5.5 図より 30 mm 以上離れた下部中央に、図の番号と説明文(図中の記号の説明を含む)を記入してください。
- 5.6 図や表の挿入箇所を、本文原稿の右欄外に指定してください。
- 5.7 図番号および説明文(図中の記号の説明を含む)は、それぞれの図に記載するとともに、「キャプション」として、一括して別紙に記してください。図中で使用している記号の説明は、原則として図中に入れないでください。
- 5.8 写真の刷り上がりは、横幅 6 cm が標準です。
顕微鏡写真の場合は、必ずスケールバーを記入してください。なお、スケールバーの位置は写真内の右下、記号は写真内の左上に貼り込んでください(付図参照)。写真は最大でも 4 枚に留めてください。また、写真や図のカラー印刷を希望される場合には、実費を負担していただきます。
この場合、該当図(写真を含む)の欄外に「カラー印刷希望」と赤字で表示してください。
- 5.9 印刷に不適切と編集委員会が判断した図表は、筆者の了解のもとに本会でトレースし、実費を請求致します(投稿規程 16 条)。
- 5.10 引用した図や表については、本文中だけでなく、図・表の表題や説明文中にも、必ず文献番号を表示してください。
- 5.11 表は、横線のみで区切り、必要最小限の大きさにしてください(付表参照)。

6 引用文献の表記

- 6.1 引用文献は本文中は^{1),2),3)-5)}などの上付きの通し番号で示し、下記の例にしたがい、本文末尾に、文献として一括して記してください。雑誌名は化学便覧および Chemical Abstracts の表記にしたがって略記し、外国語の雑誌名は下線またはイタリック体とし、巻数は太字(ボールド)としてください。なお、本誌を引用する場合はすべて英語表記の *J. Soc. Inorg. Mater., Japan* とし、1999 年以前については、上述の英語表記に加えて、注)に示すカッコ内の雑誌名を書いてください。また、筆者名はローマ字表記にしてください。
ページは最初と最後のページを記載してください。
- 6.2 雑誌の場合：筆者，筆者，雑誌名，巻数，○-△(年)。
- [例] 1) K. Murakami, M. Hanada, *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Gypsum)*, No. 5, 13-16 (1952).
2) H. Monma, *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Gypsum & Lime)*, No. 229, 12-17 (1990).
3) S. Goto, A. Nakamura, K. Ioku, *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Muki-Materiaru)*, **5**, 22-27 (1999).
4) Y. Kojima, A. Matsui, T. Yasue, *J. Soc. Inorg. Mater., Japan*, **14**, 39-43 (2007).
5) X. H. Wang, J. G. Li, H. Kamiyama, M. Kanda, N. Ohashi, Y. Moriyoshi, T. Ishigaki, *J. Am. Chem. Soc.*, **127**, 10982-10990 (2005).
6) Q. Bao, K. Ohnishi, Y. Tanabe, E. Yasuda, *J. Ceram. Soc. Jpn.*, **101**, 250-255 (1992).
7) 井奥洪二, セラミックス, **40**, 852-854 (2005).
8) 井原一高, 化学と工業, **61**, 439-441 (2008).
9) 新井祐二, 阿部敏之, 加藤育久, 赤松佑介, セメント・コンクリート, No. 715, 58-63 (2006).
10) T. Fukuda, D. Ehrentraut, *J. Cryst. Growth*, **305**, 304-310 (2007).
11) 安江 任, 小嶋芳行, 荒井康夫, 日化, **1988**, 1556-1564.
12) V. P. McConnell, *Fuel Cells Bull.*, **2008**, No. 3, 12-15 (2008).
(巻と号を併記しないと検索できない雑誌の記載例)
13) R. Mishima, M. Hino, H. Uzu, T. Meguro, K. Yamamoto, *Appl. Phys. Express*, **10**, 062301 (2017). doi:10.7567/APEX.10.062301
(オンラインジャーナルで論文番号のみでページ数がない場合の記載例：筆者，雑誌名，論文番号(年)．DOI 番号(DOI 番号の記載は任意))

注) 本会誌からの引用

No. 1-8 「石膏」(1950-1953 年) *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Gypsum)*

No. 9-251 「石膏と石灰」(1953-1994年) *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Gypsum & Lime)*
No. 252-283 「無機マテリアル」(1994-1999年) *J. Soc. Inorg. Mater., Japan (Muki-Materiaru)*
No. 284- 「Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan」(2000年以降) *J. Soc. Inorg. Mater., Japan*

6・3 本・要旨集の場合：筆者名，“タイトル”，出版社(年) p. ○.

- [例] 1) 無機マテリアル学会編，“セメント・セッコウ・石灰ハンドブック”，技報堂出版(1995) p. 235.
2) 安江 任，荒井康夫，“無機マテリアル学会第94回学術講演会講演要旨集”，(1997) p. 2.
3) F. Izumi, “The Rietveld Method”, Ed. by R. A. Young, Oxford Univ. Press, Oxford (1993) p.13.
4) JCPDS card 46-1212.
5) T. Mitsuda, J. Saito, E. Hattori, “Proc. Int. Sympo. Hydrothermal Reactions, Yokohama”, (1982) p. 823.
6) J. Yamaguchi, “Matrix preparation for biomolecules immobilization by photodimerization reaction (Ph. D. Thesis)”, 大学名, 国名(2007) p. 33.

6・4 特許の場合

1999年より以前 特開平○-123456 特開昭○-123456

2000年以降 特開 2000-123456

- [例] 1) 特開昭 56-012457
2) 特開平 05-12222
3) 特開 2003-123456
4) M. Pechini, U. S. Patent No. 3330697, July 11 (1967).

(海外特許の記載例：発明者，出願国+特許番号，公開または発効年月日)

6・5 Web ページの場合

Web ページの引用は認めません。ただし，総説および解説原稿で Web ページの引用が必要不可欠な場合は除きます。なお，この場合は引用した日付を記載してください。

引用元の社名(団体名)，URL(日付)

[例] 無機マテリアル学会，<http://www.simj.jp/>(2015.01.01)

[表の例]

Table 1 Hydration products detected by XRD.

Sample	Temperature/°C	Hydration products				
		10 min	30 min	100 min	200 min	360 min
C ₁₁ A ₇ · CaF ₂ system	5	—	E	E	E	E
	20	—	E	E	E	E, M
	30	—	E	E	E, M	E, M
C ₃ A ₃ · CaSO ₄ system	5	—	E	E	E	E
	20	E	E	E, M	E, M	E, M, C
	30	E	E	E, M	E, M	E, M, C

E: Ettringite, M: Monosulfate hydrate, C: C₂AH₈

[図の例]

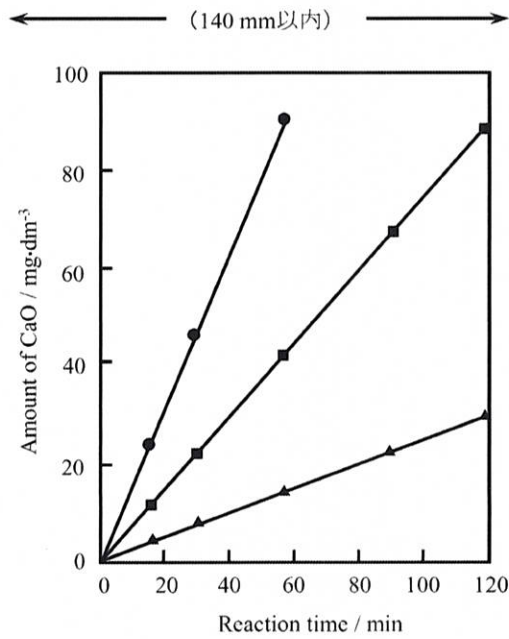


Fig. 1 Relationships between the amount of CaO and reaction time.
Reaction temp. ● : 10°C, ■ : 30°C, ▲ : 40°C

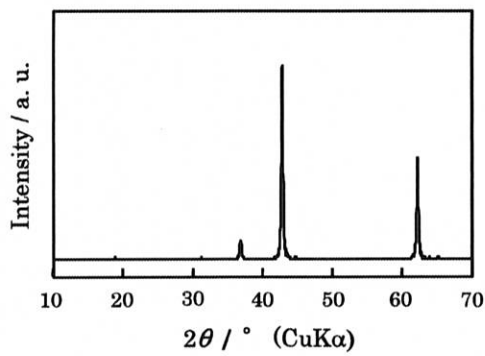


Fig. 2 X-Ray diffraction pattern of the sample synthesized by the solid state reaction.

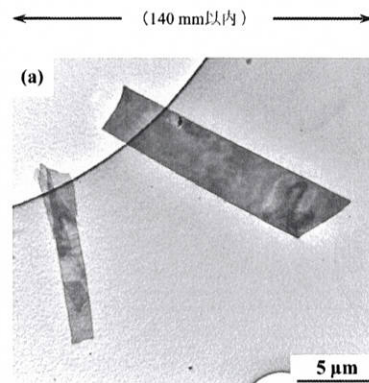


Fig. 3 TEM micrograph of particles prepared by the chemical reaction.

[参 考]

[SI 単位の表記方法および換算例]

表 1 SI 基本単位および SI 補助単位

物理量	SI 単位名称	SI 単位記号
長さ	メートル(meter)	m
質量	キログラム(kilogram)	kg
時間	秒(second)	s
電流	アンペア(ampere)	A
熱力学温度	ケルビン(Kelvin)	K
物質質量	モル(mole)	mol
光度	カンデラ(candela)	cd
平面角	ラジアン(radian)	rad
立体角	ステラジアン(steradian)	sr

表 2 SI 組立単位と対応する固有の記号

物理量	SI 単位名称	SI 記号	SI 組立単位
周波数	ヘルツ(hertz)	Hz	s^{-1}
力	ニュートン(newton)	N	$m \cdot kg \cdot s^{-2}$
圧力, 応力	パスカル(pascal)	Pa	$m^{-1} \cdot kg \cdot s^{-2} (= N \cdot m^{-2})$
エネルギー, 熱量	ジュール(joule)	J	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} (= N \cdot m)$
仕事率, 電力	ワット(watt)	W	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} (= J \cdot s^{-1})$
電気量, 電荷	クーロン(coulomb)	C	$s \cdot A$
電圧, 電位差	ボルト(volt)	V	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} \cdot A^{-1} (= J \cdot C^{-1})$
静電容量	ファラド(farad)	F	$m^{-2} \cdot kg^{-1} \cdot s^4 \cdot A^2 (= C \cdot V^{-1})$
電気抵抗	オーム(ohm)	Ω	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-3} \cdot A^{-2} (= V \cdot A^{-1})$
コンダクタンス	ジーメンズ(siemens)	S	$m^{-2} \cdot kg^{-1} \cdot s^3 \cdot A^2 (= \Omega^{-1})$
磁束	ウェーバ(weber)	Wb	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-1} (= V \cdot s)$
磁束密度	テスラ(tesla)	T	$kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-1} (= Wb \cdot m^{-2})$
インダクタンス	ヘンリー(henry)	H	$m^2 \cdot kg \cdot s^{-2} \cdot A^{-2} (= Wb \cdot A^{-1})$
セルシウス温度	セルシウス度(degree Celsius)	$^{\circ}C$	K
光束	ルーメン(lumen)	lm	$cd \cdot sr$
照度	ルクス(lux)	lx	$m^{-2} \cdot cd \cdot sr (= lm \cdot m^{-2})$
放射能	ベクレル(becquerel)	Bq	s^{-1}
吸収線量	グレイ(gray)	Gy	$m^2 \cdot s^{-2} (= J \cdot kg^{-1})$
線量当量	シーベルト(sievert)	Sv	$m^2 \cdot s^{-2} (= J \cdot kg^{-1})$

表3 SIと併用できる非SI単位

物理量	非SI単位名称	非SI記号	定義
時間	分(minute)	min	1 min = 60 s
時間	時(hour)	h	1 h = 3600 s
時間	日(day)	d	1 d = 86400 s
平面角	度(degree)	°	1° = ($\pi/180$)rad
平面角	分(minute)	'	1' = ($\pi/10800$)rad
平面角	秒(second)	"	1" = ($\pi/648000$)rad
体積	リットル(litre)	l, L	1 L = 1 dm ³ = 10 ⁻³ m ³
質量	トン(ton)	t	1 t = 10 ³ kg
質量分率	質量百分率(mass percent)	mass%	1 mass% = 10 ⁻²
体積分率	体積百分率(volume percent)	vol%	1 vol% = 10 ⁻²
モル分率	モル百分率(mol percent)	mol%	1 mol% = 10 ⁻²
エネルギー	電子ボルト(electron volt)	eV	1 eV = 1.602 × 10 ⁻¹⁹ J
回転数	回毎分(revolution per minute)	rpm	1 rpm = 1 min ⁻¹

表4 換算の必要がある非SI単位(使用できない単位)

物理量	非SI単位名称	非SI単位	換算
長さ	オングストローム(angstrom)	Å	1 Å = 10 ⁻¹⁰ m
長さ	ミクロン(micron)	μ	1 μ = 1 μm
力	重量キログラム(kilogram force)	kgf	1 kgf = 9.806 65 N
力	ダイン(dyne)	dyn	1 dyn = 10 ⁻⁵ N
圧力	バール(bar)	bar	1 bar = 10 ⁵ Pa
圧力	標準気圧(atmosphere)	atm	1 atm = 101 325 Pa
圧力	トル(torr)	torr, Torr	1 torr = (101 325/760) Pa
圧力	水銀柱ミリメートル (millimetre mercury)	mmHg	1 mmHg = 13.595 × 980.665 × 10 ⁻² Pa
熱量	カロリー(calorie)	cal	1 cal = 4.186 05 J
熱量	エルグ(erg)	erg	1 erg = 10 ⁻⁷ J
粘性率	ポアズ(poise)	P	1 P = 0.1 Pa·s
動粘性率	ストークス(stokes)	St	1 St = 10 ⁻⁴ m ² ·s ⁻¹
重量分率	重量百分率(weight percent)	wt%	mass%
原子分率	原子百分率(atomic percent)	atom%	mol%
分率	百万分率(parts per million)	ppm ^{注)}	vol ppm, mass ppm

注) 比率量であるため、厳密には単位ではない。